

Cheer

チアー【cheer】

応援すること・喝采すること・激励すること
元気がよいこと・気分のよいこと・おいしいこと

クラブ活動レポート

梅原伸亮／硬式野球部／準硬式野球部
／ソフトボール部

卒業生リレーエッセイ

満岡一也／市川恵／高木康裕

ニュースリリース

バイオ環境学部が始動
同窓会滋賀県支部総会開催
2007年入試日程・科目のご案内
同窓会の皆様の個人情報管理について
人事告知板・決算書・事務局だより

NO.19

それぞれの卒業後を追う
「徳之島観光協会事務局長」

丸野 清

それぞれの卒業後を追う
「(有)仁木電工代表取締役」

仁木 博敏

エリア探訪
「おぶせの風ユースホテルオーナー」

北風 好啓

あの人がある島。 そんな島を目指しています。

鹿児島島の南南西468キロ、太平洋と東シナ海の接線上に浮かぶ徳之島。さらに南西に沖縄を臨む奄美群島、その中央に位置する徳之島は、常夏の環境が育んだ豊かな自然と、闘牛をはじめとした祭りイベントが魅力の島だ。自然と人が一体となった緩やかな時間は、泉重千代さん(120歳)や本郷かまとさん(116歳)ら男女で長寿世界一を排出。また、毎年多くの鉄人たちが集うトライアスロンや、シドニーオリンピック金メダリスト高橋尚子選手を育てたスポーツにゆかりの深い島でもある。

昭和60年経済学部卒業生・丸野清さんは、この徳之島で観光協会事務局長を務める44歳。「趣味は徳之島とイベントです」と笑う丸野さんは、周囲84キロの常

夏の島で行われる全てのイベントに係わる、島のイベントプランナーだ。

「子どもの頃から目立ちたがり屋でした。昼食時に教室で歌ったりもしてましたね(笑)。そんな私を温かく見守ってくれた島民の人柄が昔から好きで、何らかのかたちで島に恩返しをしたいと、ずっと思っていました」

大学での人との出会いが人生を左右する

丸野さんが京都学園大学を選んだ理由は、ありふれたものだ。漠然とした京都への憧れと、クラブ活動やアルバイトなど自分の時間を確保したいという二点。だが、生来の目立ちたがり屋は、京都学園大学で自身の人生の舵を切るキッカケと出逢った。

「たまたま、クラブ勧誘で先輩に声を掛けられたんですよ。落語研究会に入らないかと。落語には全く興味がなかったのですが、一年後には大好きになりました。その先輩には本当にお世話になりました。今でも連絡を取り合いますよ。彼は、桂三枝さんのお弟子さんで、桂三風さんといいます」

学生時代はクラブ活動とアルバイトにどっぷりだったと話す丸野さん。京都落語協会主催のイベントには毎年常連で出席していた当時の京都学園大学落語研究会で、丸野さんは落語を通して、舞台と会場が一体になる喜びを知る。

「今思えば、あの頃の落語研究会が最盛期だったんですね。漫オブームの少し前くらいでしょうか。協会主催の舞台も、京都学園大学の落研はトリを務めるくらいレベルが高かった。龍尾祭でも大人気でしたよ。女子大に呼ばれたりもしました。楽しかったなあ(笑)」

クラブ活動で知り合った人脈から、丸野さんは活躍の舞台を徐々に広げていく。先輩・三風さんの紹介で始めた結婚式場司会のアルバイトで司会業を体験。クラブ活動で鍛えた話術にさらに磨



きをかけた。

「MCのアルバイトを続けているうちに、これだ、と思う気持ちが強くなっていました。ヒトとは違う仕事をしたいとも思っていましたし、長く続けるつもりはなかったのですが、本気でやってみたくて。自分を試したかったんですね。それで卒業後は、師匠の城修一さんの勧めもあって東京へ行き、MC業に就きました。東京へ発ったのは卒業式の翌日でしたね(笑)」

仕事は自分でつくる

自分を試すつもりで始めた司会業。腰掛

のつもりの仕事も、続けるうちに芸能関係の人脈が増え、思いのほか長く続けることになった。島へ恩返しをするために戻る決心をした頃には、26歳になっていた。故郷に戻りJ Aに就職。以後10年間、関連式場で働いた。

「希望通りに島へ戻ったんですが、仕事は希望通りにはいなくて(笑)。私ができることで島に恩返しをするなら、それはやはりイベント業なんですが、島でそんな仕事はないと、否定的な声が多数でした。だから、仕事は自分でつくる」と



丸野 清

昭和60年経済学部卒業。
徳之島観光協会事務局長。
イベント企画オフィス丸野代表。



J Aに従事する傍ら、島の「こども祭り」企画を立ち上げた。当初は島の人々から理解を得られなかったが、根気良く続けるうち、島のみんがイベントに参加してくれるようになっていた。

「もともと、多彩なイベントがある島ではなかったんです。娯楽も豊富なわけじゃない。昔から盛んなのは闘牛だけです。でも、その闘牛に係わるときの島民の盛り上がりは、とても熱いものがあります。それはもう情熱的です。楽しいことには積極的に参加する南国の気風というか、そういうものが島に流れてるんでしょね。だから、楽しいことを用意すれば、そしてそれが楽しいことだと理解してもらえれば、あとは島のみんが積極的に楽しんでくれるだろうと信じていました」

故郷でのイベント業に展望が見え始めた頃、J Aを退職。観光協会事務局長を務める傍ら、イベント企画オフィス丸

野を起業。今では活躍の場は徳之島の中だけに取まらない。取材中かけた多忙を労う言葉に、丸野さんは笑って応えた。「徳之島とイベントが趣味ですから」

現在、徳之島のイベントカレンダーには、『全島闘牛大会』はもちろん、『黒砂糖まつり』、『トライアスロン』、『どんどんまつり』、『ワイドまつり』、『秋利神こどもの国フェスタ』など一年を通して多彩なイベントが目白押しだ。島民の暖かくゆったりした気風を理解し、愛する丸野さんだからこそ「恩返し」が、今日も故郷の徳之島を賑わせている。



鹿児島

奄美大島

徳之島

沖永良部島

徳之島観光協会

〒891-7101

鹿児島県大島郡徳之島町亀津徳新港待合所内

TEL&FAX 0997-82-0575

徳之島観光協会ホームページ

<http://www1.ocn.ne.jp/~kyokai/>

徳之島ネットワーク

<http://www3.synapse.ne.jp/mcmaru/>

徳之島テレビ

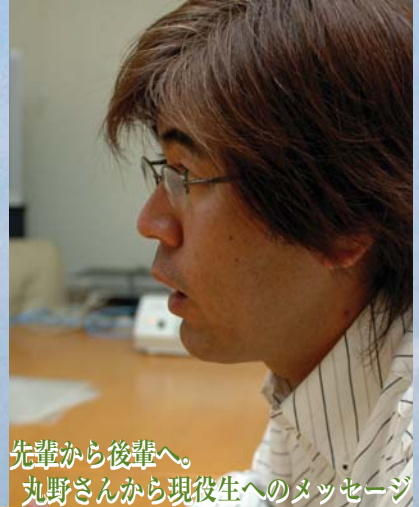
<http://tokunoshima-tv.com/>

ひとりの「卒業生」として母校に寄せる想いを丸野さんに聞いた。



「二十代の頃です。卒業してから一度だけ、学園大に行きました。ずいぶん久しぶりに山陰線に乗りました。保津峡の駅で、単線ならではの待ち時間があったので、ちょっとホームに出て、景色を楽しんだんです。大学に入学したばかりの頃を思い出しましたね。」

徳之島には電車も川もないですから、それだけでも楽しめるんです。亀岡が自然の豊かなところで良かったと思っていますよ。徳之島から出てきて、急に大都会だと、環境のあまりの変化に戸惑っていたかもしれません(笑)」



先輩から後輩へ。
丸野さんから現役生へのメッセージ

「同窓生が自分の周りに少ないので、やはり寂しいですね。日本全国でみれば、どこかに必ずいるはずなんですが、それもあまり耳に届いてこない。やはり、母校にはもっと表に出てきてもらって、徳之島にいても聞こえてくるような活躍を期待しています。」

卒業生として母校を応援する気持ちはもちろんあります。同窓生が母校に対する想いをアピールできるような場を設けてほしいと思いますね。私が関係するイベントに現役生が関わってくれるような、そんなことがあっても良いと思いますし、同窓生と現役生のパイプがもっと強くなれば楽しいだろうなと」



同窓生に向けて。
当時の友人たちへのメッセージ

「おーい、みんな元気か(笑)。マルちゃんも故郷の徳之島にいるよ(笑)。」

挨拶はともかくとして(笑)、やはり、落語研究会がなくなったのが悲しいですね。私の大学生時代はアルバイトとクラブ活動が中心でしたから、落研がなくなったのは、親がなくなったのと同じくらいに悲しい。帰る家なくなった感じです。」

ですから、落研には復活してほしい。後輩たちに、OBとして教えたいです。桂三風さん、三遊亭京楽さん、東西の大御所に落語家を輩出したクラブですからね。私もできるだけ協力はするつもりです。落研のOBのみんな、学園大で会いましょう！」

「島には大学がないということもあるのですが、故郷に帰ってから、あまり母校の話をする機会がないんですね。それだけに学生時代の思い出を話す機会が持てたらいいなと思っています。現役生のみなさんには、卒業後も、自分の周りの方々に自信を持って京都学園大学の話をしてもらいたいです。」

自分の出た大学ですから、誇りを持って紹介してほしい。それがいるいるな人脈を広げ、繋げることにもなりますし、母校を育てることににもなると思います。大学は入れ物ですからね。中身の私たちが育てないと」





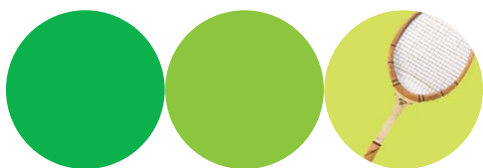
昭和56年卒業生・仁木博敏さんは学園大学のソフトテニス部を7部から4部まで昇格させた立役者だ。高校時代にインターハイ出場を果たしていた仁木さんは、大学に入ってからインターカレッジ大会で団体ベスト16まで勝ち進んだ名プレイヤー。48歳の今も、シニアの部で京都1位の实力者である。

「京都学園には感謝しています」と話す仁木さん。インターハイに出場した高校時代は京都商業(現・京都学園高校)で過ごし、大学は言わずもがな京都学園大学。自らが通った学校として安心感があるからと、お子さんにも京都学園中学、高校を勧めた結果、昨今当然のようになっ

ている塾通いなしに、お子さんは京都市内有名私立大学に入学した。

「学園中学、高校の先生方には本当にお世話になりました。私自身も、私の息子も。とくに息子に関しては、とても細やかな面倒を見てくださっていました。息子が体調を崩したときも、私たち親はそのことに気付かなかったのに、先生のほうが先に気付かれたんですね。先生が心配して連絡をくれたんですが、それまで私は知りませんでした。それで、この学校はやはり信頼できるなど」

親子二代で京都学園グループが好きだと話す仁木さん。学園大学の体育会系クラブご用達の「山内スポーツ」は、仁木さん



学園には感謝しています。

の奥さんの実家が営むスポーツ用品店だ。同店でアルバイトにくる現役生にも、店長としてでなく、先輩として接しているという。

「今の子どもたちは、もっと元気にハジけてもよいと思うんです。スマートというか、賢いんでしょうね。次の日はバイトや授業があるからと夜も早く帰るのは悪いことじゃありませんが、私たちの場合だと、次の日の朝9時から授業だとして、

じゃあ朝9時までは遊べるじゃないかと思ったものです(笑)」

卒業生として、先輩として、父として、今も母校を温かく見守る仁木さん。現役生の頃に培ったバイタリティは今もまだ健在だ。

「ひとりの卒業生として思うのは、母校を盛り立てるのは現役生だけじゃない

ということですね。私たち卒業生も盛り立てていかなければならない。私たち一人ひとりが頑張れば、母校も一緒に成長していくのではないのでしょうか。

人間関係が希薄になったといわれる最近ですが、人の繋がりが大切なものであることに変わりはないでしょう。同じ母校を巣立った者同士、同窓生としてこれからも頑張っていきたいですね」



仁木 博敏

昭和56年経済学部卒業。
(有)仁木電工代表取締役
(有)山内スポーツ取締役。
元ソフトテニス部部长。



「旅人たちが集い、語らう安らぎの場所」

北斎が愛でたまち。 小布施のまち。



#8 Town of Obuse which Hokusai KATSUSHIKA admired.

長野県で一番小さな町、小布施町は信州の玄関口長野市から北東に位置し、栗と北斎と花のまち。「むかし」と「いま」が共存している小布施の街に惹かれ人に惹かれ、毎年120万人もの観光客が訪れている。「富嶽三十六景」などで有名な天才浮世絵師、葛飾北斎が晩年を過ごし、

描き残した作品を数多く展示する北斎館や、江戸時代には幕府御用達だった小布施栗など現代にもしっかりと「むかし」が息づいている。

観光地としても多くの人々を魅了する小布施。「北斎館」「おぶせミュージアム」「高井鴻山記念館」をはじめとする数

多くの文化施設や、名物小布施栗を使った栗あんみつやモンブランなどスイーツは女性を中心にファンが多く、何度も通いたくなる場所ばかり。そんな「安らぎと文化の町」に京都学園大学卒業生の営む宿「おぶせの風ユースホステル」がある。



「夢を実現するためには行動を チャンスは来る」

そう話してくれたのは(長野県上高井郡)小布施町でユースホステルを営む、北風好啓さん(45)。北風さんは和歌山県出身で昭和58年経済学部卒業。北風さんがユースホステルを営むきっかけとなったのは、大学3年生のころ。余暇を利用しての信州旅行で初めてユースホステルを利用した。「普通の旅館ではできない宿泊者同士の出会いやコミュニケーションが楽しかったです。どこの誰ともわからない人とでもアットホームな会話をして、仲間ができるのが良かったんだと思います。自分でもやってみたいとなぁとおぼろげに思ったのはこの旅行があったからじゃないでしょうか」とユースホステルに魅了された北風さんは残りの学生生活で日本全国を巡った。もちろん宿泊はユースホステルで。その後、就職し呉服問屋で働くものの旅の楽しさが忘れられず、きっかけとなった信州へ。

「旅を楽しめるきっかけとなった信州で自分がユースホステルを営み、若者から高齢者までだれもが安らげるアットホームな憩いの場を作りたかったんですよね」と話す北風さんは、夢を実現するためにじっくりとチャンスを待った。そして、平成12年11月10日9時に「おぶせの風ユースホステル」を晴れてオープンした。「形はかわったけども、やっぱり私も旅人。旅する人の安全を願いながら旅人同士がアットホームに語り合う場所になれば」と今後の目標に笑顔を見せる。

「かつての旧友たちも全国に散り、自分の夢を実現させようと頑張っているのではないのでしょうか。連絡する機会こそ減りましたが、各々が自分の目標を達成していることを願っています。夢を持って行動すれば自分の想いは必ず実現できる。夢を持ちましょう」と優しく微笑んだ。

——学生時代の思い出を片手に、人の心と文化が共存する小布施の「風」を感じる旅に出ませんか。



北風 好啓

昭和58年経済学部卒業
「おぶせの風ユースホステル」
マネージャー兼ベアレンツ。
長野・小布施のまちの賑やかな観光ストリートを抜けた閑静な場所に憩いの宿「おぶせの風」はある。



おぶせの風ユースホステル

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施475-2
TEL&FAX 026-247-4489
<http://homepage2.nifty.com/obusenokaze/>
【電車】JR「長野駅」で長野電鉄に乗り換え「小布施駅」下車
【自動車】上信越道「須坂長野東IC」より10分

ガンバルヒト

ganbaruhito

nobuaki umehara
baseball
junko basesall
softball



we look forward to sports movement

我らが母校、全国各地で大旋風

待ちに待ったと言っても過言ではないでしょう。我らが母校、京都学園大学から初のプロ野球選手が輩出され、大きな期待を抱かせてくれています。また、硬式野球部、準硬式野球部、ソフトボール部が同時に全国大会へ出場。二重三重の喜びでキャンパスを活気づけてくれています。



梅原伸亮投手 広島東洋カープへ入団

学園大から初のプロ野球選手輩出に歓喜

我らが母校・京都学園大学から梅原伸亮くん(平成18年経済学部卒業/金光大阪高校出身)が広島東洋カープからドラフト指名を受け、京都学園大学初のプロ野球が誕生しました。

11月18日のプロ野球ドラフト会議で広島東洋カープから指名を受けた梅原くん。背番号も京都学園の大先輩、澤村栄治投手にあやかった14番(広島では炎

のストッパー津田投手が着用)で決定。

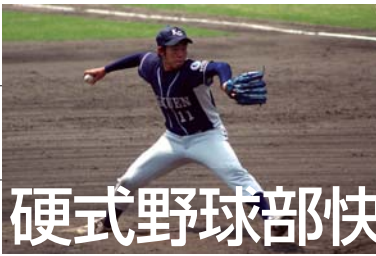
また、12月20日には、広島東洋カープの2006年度新入団選手の発表記者会見が行われ、梅原くんら新入団選手が記者会見席に並び、緊張気味にユニホームに身を包みました。

記者会見ではブラウン監督より「新入団選手のみなさん、カープのファミリーによるこそ。今日入団することとなった

選手たちは、みんな自信满满でたくましく思います。選手のみなさんにはこの自信を大切に、ぜひ頑張ってもらいたいと思っています。私もベストを尽くしますので、みんな一つになって頑張りましょう。」という歓迎の言葉を頂きました。

梅原くんは「自分の中では広島=14のイメージがあるので、14番をいただいて、嬉しく思っています。カープは昔から気持ちを前面に出すチームで、やりがいがあると感じています。任された仕事を精一杯がんばりたいと思っています。目標は沢村栄治さん。そして中学の同級生であるロッテの今江選手と対戦したいです。早く一軍に上がり、背番号に負けない投手となるべく頑張りますので、先輩方には応援よろしくお願いします！」と満面の笑顔を見せていました。

入団今季より一軍で活躍中。皆さんにご最良の球団はあるかと思いますが、私たちの後輩として、応援して行きましょう！



硬式野球部快挙 5年ぶり全国大会へ出場

母校、京都学園大学公式野球部は、京滋大学野球春季リーグで佛教大学と対戦、5月24日の第3戦を見事1-0で競り勝ち、10季ぶり5度目の優勝。6月6日から神宮球場で開催した大学野球界最高峰の大会「全日本大学野球選手権大会」(全日本大学野球連盟、読売新聞社主催)へ5年ぶり2度目の出場を手にしました。

6月7日、晴れて東京ドームのグラウンドに立った京都学園大学硬式野球部の選手たち。対戦相手は愛知大学野球連盟に所属する強豪・名城大学。先攻で臨んだ一回の表、1番打者の上田くんは全国大会のプレッ

シャーを跳ね除けるかのような二塁打を打ちスタンドを沸かせますが、名城大の清水投手の好投の前に後続が倒れ、得点はなりませんでした。

その裏、投手・宮内くんの立ち上がりの乱れを突かれ3失点。その後も加点され4点ビハインドで迎えた九回の表、最後の攻撃。フォアボールや相手チームのエラーなどで1点をとり返したものの1-4でゲームセット。京都学園大学硬式野球部が初めて立った東京ドームでの試合は終了となりました。

一回戦敗退という残念な結果に

終わりましたが、全国大会出場、全国の晴れ舞台で「学園大の野球」をした事実は私たち同窓生も誇りに思います。応援に駆け付けていただいた皆さん、また関係者各位の皆さまには京都学園大学同窓会からもお礼を申し上げます。これからも、私たちの後輩たちの活躍を見守ってあげてください。

——試合後、ホテルで疲れを癒す選手たちから頼もしい言葉をいただきました。「次も(全国に)来ますよ。春(春季リーグ)ではなく、(この)秋にです!」



準硬式野球部 2年連続全国大会出場! 強豪校の仲間入り

創部9年目という歴史の浅い部ですが、2年連続全国大会出場を果たし、関西では強豪校として知られるようになりました。これだけ急速に力をつけた背景には、全ての活動において部員の自主性を尊重し、「好きでやっている野球」であることを意識できているからではないかと思えます。また、初優勝以来、常に成績を下げずに順調にステップアップできたのは、先輩が後輩に自分たちに足りなかったものが何であったのかを引継ぎ、いわゆる「伝統」というものをしっかりと築いてくれたからだと思えます。今後も準硬式野球部先輩方に恥じない歴史を積み重ね、京都学園大学の名前を全国に知らしめていきたいと思えますので声援よろしくお願いいたします。

加藤 祐一
キャリアサポートセンター
準硬式野球部顧問



ソフトボール部 「目標は一部昇格!」強豪相手に大健闘

私たちは八月に豊橋市で開催されました第41回全日本大学ソフトボール選手権大会に近畿地区代表として初出場いたしました。結果は第一経済大学に0-6で敗れ、初勝利は飾れませんでした。内容は投打ともに相手が勝り、伝統校との力の差を見せつけられる結果となりました。敗れはしましたが選手はとて貴重な経験を積みました。この経験を糧に、関西リーグにおいても「一部昇格」を達成できるよう更なる飛躍を誓います。ご声援ありがとうございました。

山本 和宏
学生課
ソフトボール部監督



「環境とバイオの21世紀」 明日の地球を担う人材を



バイオ環境学部開設

「明日の地球のために」 バイオ環境学部が始動しました

グリーンバイオの時代が
やってきます

20世紀の科学・技術の飛躍的な発展は、人類に多くの恩恵を与えてきました。一方で資源・エネルギー、食料、環境、健康などにかかわる多くの問題が、21世紀に生きる私たちに解決すべき課題として与えられました。とくに環境問題は深刻です。水質汚染、大気汚染、土壌汚染、地球温暖化、生物の多様性の喪失など問題は実に広範囲、一刻も早く、環境破壊をくい止め、環境保全・再生への流れを作らなければなりません。そこで注目されるのがグリーンバイオ。バイオサイエンスの知識と技術を応用し、環境にやさしいモノづくりや環境保全・再生へ役立てようとするもの。私たち京都学園大学バイオ環境学部が取り組むフィールドはここにあります。

京都から地球環境の未来が
はじまります

千年の歴史と伝統のある「京都」にあるバイオ環境学部。田園や里山が多く、人と自然の共生を実感しながら学ぶことができ、また、田園や里山を教室として、実験室として、活用しながら研究に取り組むことができます。恵まれた環境のなかで、大きな夢と使命感を持って学び、「明日の地球のために」という人類共通の大きな目標に向かって進む偉大な開拓者が育ってゆくことを期待しています。

社会に開かれた教育・研究を
実践します

持続可能で安全な社会をつくるためには、社会と大学との緊密な連携が必要です。そのための取り組みとして、バイオ

環境学部は、産官学との共同研究を実施するとともに、次の世代を担う高校生との交流がとて重要と考えており「高大連携プログラム」を推進します。



關谷 次郎教授

バイオ環境学部学部長

主な経歴:

京都大学大学院農学研究科博士課程農芸化学専攻修了
農学博士(京都大学)
京都大学大学院農学研究科教授・副研究科長
京都大学名誉教授

■バイオ環境学部／2007年入試日程・科目

制度	選考区分	学科	内容	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続 締切日(1次)	入学手続 締切日(2次)	試験地	本 学	東 京	名 古 屋	金 沢	大 阪	岡 山	福 岡	
公募推薦入試	公募推薦入試 A方式	両学科	英・数・理より 2科目+評定点	10/20(金)～11/2(木) ※本学へ持参の場合、 11/4(土)・11/6(月)受付可。	11/12(日)	11/18(土)	12/8(金)	12/22(金)	本学 地方	○		○	○	○	○	○	
	公募推薦入試 B方式		英・数・理より 2科目+評定点	11/20(月)～12/7(木) ※本学へ持参の場合、 12/8(金)・12/9(土)受付可。	12/16(土)	12/23(土)	1/12(金)	1/26(金)	本学 地方	○				○	○		
一般入試	一般入試 前期		英・数・理より 高得点2科目	1/5(金)～1/24(水) ※本学へ持参の場合、 1/25(木)・1/26(金)受付可。	2/2(金) ----- 2/3(土)	2/10(土)	2/23(金)	3/2(金)	本学 地方	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般入試 中期		英・数・理・国より 高得点3科目	1/24(水)～2/13(火) ※本学へ持参の場合、 2/14(水)・2/15(木)受付可。	2/22(木)	3/1(木)	3/9(金)	3/16(金)	本学 地方	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般入試 後期		英・数・理より 高得点2科目	2/19(月)～3/6(火) ※本学へ持参の場合、 3/7(水)・3/8(木)受付可。	3/14(水)	3/22(木)	3/27(火)	3/27(火)	本学 地方	○		○		○	○		
センター利用 入試	センター利用 入試前期		国・数・地・公より 1科目	1/5(金)～2/2(金) ※本学へ持参の場合、 2/3(土)・2/5(月)受付可。	本学での 個別試験 等なし	2/15(木)	2/23(金)	3/2(金)	全国の大学入試センター試験会場								
	センター利用 入試後期	国・数・地・公より 1科目	2/8(木)～2/27(火) ※本学へ持参の場合、 2/28(水)・3/1(木)受付可。	本学での 個別試験 等なし	3/10(土)	3/16(金)	3/23(金)										

※上記の持参受付時間(平日)9:00～17:00 (土)9:00～12:00

来年度入試にお力添えをお願いします

～2007年度入試日程・科目～ (経済/経営/法/人間文化) ※バイオ環境学部入試日程・科目はP.10をご参照ください

2007年度の入試日程が下記のとおり決定しました。お子様はもちろん、お知り合いの方々にも、ぜひ受験をすすめていただきますようお願い申し上げます。なお、大学案内および入学願書は無料で差し上げますので、ご希望の方は本学入試課あてにお申し出ください。

入試日程

制度	選考区分	学科	内容	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続 締切日(1次)	入学手続 締切日(2次)	試験地	本学	京都駅前	東京	名古屋	大阪	岡山	広島	高松	福岡
公募推薦入試	特技自己推薦入試		特長点+面接	10/12(木)～10/20(金)	10/29(日)	11/4(土)	11/10(金)	12/22(金)	本学	○								
	公募推薦入試 A方式	全学科	11/10 英・国・数・地歴より2科目+評定点	10/19(木)～11/1(水) ※本学へ持参の場合、11/2(木)・11/4(土)受付可。	11/10(金)	11/18(土)	12/8(金)	12/22(金)	本学	11/18	○	○	○	○	○	○	○	○
			11/11 英・国・地歴より2科目+評定点		11/11(土)					本学	11/19	○	○	○	○	○		
公募推薦入試 B方式			面接+評定点 <small>(経営学部女子推薦枠のみ) 面接+志望理由書</small>	11/27(月)～12/8(金) ※本学へ持参の場合、12/9(土)・12/11(月)受付可。	12/17(日)	12/23(土)	1/12(金)	1/26(金)	本学・地方 人間関係学科は本学のみ	○				○	○			
一般入試	一般入試前期	全学科	1/26 英・国・数・地歴より2科目	1/5(金)～1/18(木) ※本学へ持参の場合、1/19(金)・1/20(土)受付可。	1/26(金)	2/6(火)	2/16(金)	3/2(金)	本学 地方	1/26	○	○	○	○	○	○	○	○
	1/27 英・国・地歴より2科目		1/27(土)		1/27					○	○	○	○	○	○	○	○	
	1/28 英・国・数・地歴より2科目		1/28(日)		1/28					○	○	○	○	○	○	○	○	
	1/29 英・国・地歴より2科目		1/29(月)		1/29					○	○	○	○	○	○	○	○	
一般入試中期			英・国・数・地歴より2科目	2/5(月)～2/16(金) ※本学へ持参の場合、2/17(土)・2/19(月)受付可。	2/24(土)	3/3(土)	3/16(金)	3/23(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般入試後期			英・国・数・地歴より2科目	2/26(月)～3/9(金) ※本学へ持参の場合、3/10(土)・3/12(月)受付可。	3/17(土)	3/24(土)	3/28(水)	3/28(水)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	
センター利用入試	センター利用入試前期		2科目型:高得点2教科2科目 3科目型:高得点3教科3科目	1/5(金)～2/2(金) ※本学へ持参の場合、2/3(土)・2/5(月)受付可。	本学での個別試験等なし	2/15(木)	2/23(金)	3/2(金)	全国の大学入試センター試験会場									
	センター利用入試後期		高得点2教科2科目	2/8(木)～2/27(火) ※本学へ持参の場合、2/28(水)・3/1(木)受付可。	本学での個別試験等なし	3/10(土)	3/16(金)	3/23(金)										

※上記の持参受付時間(平日)9:00～17:00 (土)9:00～12:00

2007年度 入試の傾向と対策

- <特技自己推薦入試>得意分野をいかに資格・クラブ・得意科目などを幅広く評価する入試です。高校時代の取得資格や課外活動を評価します。
- <公募推薦入試A方式>得意科目をいかに英語・国語・数学・地歴(日本史Bまたは世界史B)より一番解きやすい2教科2科目をその場で選択できます。※19日は数学不可
- <公募推薦入試B方式>面接のみで受験推薦入試合格の最後のチャンス。面接のみで受験できます。※経営学部では女子推薦枠が設けられています。

- 解答はマークセンス方式が中心学科試験は主にマークセンス方式での解答です。
- 数学は記述式解答過程にも部分点が与えられます。
- センター利用入試は2回実施センター利用入試前期には2科目型と3科目型があり、同時出願が可能です。後期は2科目型でのチャレンジとなります。
- 試験日・学部自由選択制公募推薦入試A方式、一般入試前期は複数の試験日が設けられているので、好きな日を選んで受験できます。同一学部の複数回受験や他学部との併願も可能です。

- 最高得点を合否判定の対象に試験日の連続する入試で同じ学部を複数回受験した場合、最もできの良かった日の点数で合否判断をします。
- 問題の出題パターンは例年と同じどの入試制度も問題の出題パターンは昨年とほとんど同じです。入試ガイドや問題集(赤本)で傾向分析ができます。
- 地方試験会場も充実全国10地区に会場を設置したので自宅近くで受験ができます。試験会場による有利・不利はありません。

問い合わせ先

京都学園大学入試課……………〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL.0771-29-2222(入試課直通)
 入試情報テレホンサービス……………0771-24-8686
 URL……………http://www.kyotogakuen.ac.jp
 E-mail……………nyushi@kyotogakuen.ac.jp

第3回滋賀県支部総会・懇親会盛大に開催



第3回滋賀県支部総会が5月21日、ホテルポストプラザ草津で行われました。参加者は26名。総会では、支部長より挨拶、新役員への選出、会計報告の他、波多野進学長のミニ講演会も催され、我が母校・京都学園大学の現状と今後の進むべき道について有意義なお話を聞くことが出来ました。

続いて行われた懇親会では、浅野真実同窓会会長の挨拶、大学キャリアサポートセンターから「就職の現状と求人のお願い」、そして滋賀県支部新役員及び初出席滋賀県会員の紹介があり、また同窓生で落語家として活躍されている桂三

風さん、桂ひろばさんのトークショウが催されました。

余談になりますが、今回参加いただいた桂三風さんと本誌の特集記事で取材させていただいた丸野清さんとは落語研究会の先輩後輩の間柄で、三風さんが先輩、丸野さんが後輩にあたります。そのもう一年下に、三遊亭京楽さんもおられるんですね。西の桂に、東の三遊亭、落語界の東西の名門へ卒業生を輩出している大学はそうそうありませんから、これを何かのきっかけに落語研究会の復活を応援したいものですね。



写真左が桂ひろばさん、写真右が桂三風さん
お二人のご活躍を今後も期待しています！

滋賀県支部2006年度新役員

支部長	馬場 善和	10期生
副支部長	渋江 敦	10期生
副支部長	鳥居 彦宏	10期生
幹事	吉仲 和夫	5期生
幹事	小倉 正弘	9期生
幹事	宮川 聡	11期生
監事	武村 薫	9期生

同窓会の皆様の個人情報管理について ～個人情報保護法に基づき情報管理を徹底します～

平成17年4月1日から個人の権利や利益を保護するために、「個人情報保護法」が全面的に施行されました。

京都学園大学同窓会では現在、同窓生の皆様のご氏名・現住所・帰省先住所・電話番号・就職先のデータを管理しております。これらの個人情報は、同窓会イベント開催のお知らせ・同窓会支部創設のお知らせ・同窓会報「Cheer」郵送・同窓会報「Cheer」取材ご協力のお願いに活用させていただいており、ご本人の同意を得ることなく、又法令等に定める特別な場合

を除き、第三者に提供することはありません。

なお、Cheer等の発送業務に関しては、委託する場合がありますが、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準としています。

また、現在は会員名簿の発刊や、電話による寄付のお願いなども行っておりません。イベントや会報の件で電話連絡をさせていただく際には、京都学園大学同窓会事務局担当者の氏名を名乗ります

ので、不審な連絡・問い合わせ等がありましたら、下記の問い合わせ先までご確認ください。

今後とも同窓生の皆様の個人情報保護に努めていきますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先

TEL: 0771-22-2001(代)

FAX: 0771-29-2389

E-mail: dousoukai@gakuendai.com

卒業生リレーエッセー

昭和48年に第1期生が卒業して以来30年、各界で多くの同窓生が活躍している。全国各地で離れ離れに暮らしていても、その原点はもちろん京都学園大学。忘れられない学園生活の思い出や現在の心境をリレー形式で綴ってもらう。

● 10人による第1回軽音楽部演奏会、そして龍尾祭での演奏等、楽しい思い出ばかりです。



現在勤務している三重県立上野商業高等学校吹奏楽部の生徒達です。40名足らずの小さな編成ですが昨年の吹奏楽コンクールに出たときのものです。

大学を卒業してもう30年が経とうとしています。当時は学部も少なくキャンパス内も少し寂しい感じがありました。サークル活動も数が少なく、私がやりたかった吹奏楽部がなく途方に暮れていました。そんな時大学で出会った友人達と軽音楽部を立ち上げ、楽しく学生生活を送ったことを思い出します。

現在、県立高校の教員生活を送っています。生徒指導の難しさを痛感する今日この頃ですが、趣味でもある吹奏楽を通して生徒達と楽しく青春しています。



満岡 一也

昭和52年卒業
経済学部経済学科



次は池野 啓三さん
(昭和55年経済学部経済学科卒業)を紹介します

● 大学時代の様々な経験や交流がとても役に立っています。



経営する会社のオフィスにて。写真向かって右が私、左は大学時代の同期の友人でもあり、会社を支えてくれる優秀なスタッフでもある石田晃士君です。

私の大学時代といえば、サッカー部での活動とサーフィン、そして下宿生活が懐かしく思い出されます。学業そっちのけで先輩や後輩、同期の仲間たちとボールと波を追いかけていました。又、恩師であるサッカー部監督の山下哲先生には大学生活において大変お世話になりました。

現時は、企業の広告・販売促進の企画・デザイン政策の会社(有)ユニットを経営していますが、大学時代の様々な経験や交流がとても役に立っています。



市川 恵

昭和58年卒業
経済学部経営学科



次は植田 哲也さん
(昭和58年経済学部経営学科卒業)を紹介します

● 仕事と合気道の日々。夢や希望を忘れずに、人生を楽しく歩んでいきたい



写真はこの間の京都演武会の風景。これからは学生の頃の夢や希望を忘れずに、人生を楽しく歩んでいきたいですね。

早いもので卒業後10年以上たち、今は仕事に没頭する毎日です。この間久々に学校へ行くと、新しい建物がいくつもあり、驚きました。当時JAZZオケをしており、その部活場所もあり、懐かしく思い出しました。卒業後は、主に柔道をし、最近では合気道もしています。



高木 康裕

平成3年卒業
法学部法学科



次は杉本 学さん
(平成3年法学部法学科卒業)を紹介します

人事告知板・退職のお知らせ



海原 徹 教授/前学長

(人間文化学部人間関係学科)

激動の日々が去り、ようやくまともな研究生生活に戻ることができました。今まったく新しい心境で、懸案のテーマに取り組んでいます。

若い皆さん、周囲の雑音を恐れず、自らの信念をもって、たえず前へ前へまっしぐらに突き進んで下さい。

専門/日本教育史



隅井 孝雄 教授

(人間文化学部メディア文化学科)

あつという間の七年間でした。100人近い学生を社会に送り出すことが出来たのは何よりの幸せです。

若者たちと楽しく学び、楽しく飲んだおかげで、私も知識が増え、身体も心も若くなりました。ありがとうございました。

主題/マスメディア論, アメリカ文化論



西村 正幸 教授

(経済学部)

事務局報告/西村先生におかれましては、1969年の大学開学とともに、経済学部専任講師に就任され、73年に助教授、78年には教授、この間教務部次長、教学部長を歴任されました。

門下生一同、先生のますますのご活躍を願っています。ありがとうございました。

専門/財政学

訃報

瀬川 良之 教授

(経営学部経営学科)

事務局報告/瀬川先生におかれましては、2006年5月26日享年47歳の若さでご病気によりご逝去されました。同窓生一同、謹んでご冥福をお祈りいたします。

専門/応用確率論, 最適化科学

平成17年度
京都学園大学同窓会
決算書

《一般会計》 (単位 円)

科目	決算額
前年度繰越金	2,824,299
会費	26,500,000
雑収入	152
収入の部合計	29,324,451

科目	決算額
事務費	1,081,835
人件費	120,000
事務補助費	961,835
会議費	1,272,780
会議費	764,290
交通費	508,490
事業費	14,286,604
会報発行費	5,631,715
名簿管理費	80,000
総会費	655,450
助成費	5,814,062
支部運営費	1,032,183
奨学費	960,000
慶弔費	113,194
積立金	9,000,000
基金積立金	0
事業積立金	9,000,000
予備費	0
翌年度繰越金	3,683,232
支出の部合計	29,324,451

企業紹介のお願い

皆様もご存知のとおり、昨今の新規卒者の就職状況は学生の二分極化が進むなか、厳正採用を強いられ以前にもまして厳しいものであります。つきましては、皆様様が在籍されておられます企業において新卒採用の求人等がございましたら、ご一報いただきたく申し上げます。是非とも、後輩の一助となるようご協力をお願いいたします。なお、求人に関するお問合せ・ご質問等につきましては、下記の連絡先までお願い申し上げます。

京都学園大学キャリアサポートセンター

TEL:0771(29)2260 FAX:0771(29)2269

E-mail: career@kyotogakuen.ac.jp

事務局だより

日本全国で市町村合併が行われておりますが、皆様は住所等変更ありましたでしょうか？

同窓会事務局では、市町村合併に伴う住所変更手続き等を行っておりますが、毎回数百部のCheerが返送されてきています。配送する郵便局ごとに違うのですが、中には旧住所表記では合併後2、3年で届けてもらえない場合が多々あります。住所等に変更がありましたら、略さず正しい住所表記で変更届けをお願いいたします。

お便り
お待ちしております

住所変更や近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構です。お気軽に同窓会事務局へご連絡ください。

お便りお待ちしております

TEL:0771-22-2001(代)

FAX:0771-29-2389

E-mail:

dousoukai@gakuendai.com

URL:

http://www.gakuendai.com

おかえりなさい。

ホームカミングデーのご案内

日時 平成18年11月3日(金・祝)～11月5日(日) 11時～16時
(本年の第38回龍尾祭は11/3～11/5までの日程で開催されます)

場所 京都学園大学
(光風館前の同窓会テントで受付します。模擬店の金券なども用意しています。)金券等は各日ごとに数に限りがあります。先着順に配布させていただきます。

同窓会総会のお知らせ

日時 平成18年11月5日(日)12時～13時
場所 京都学園大学光風館会議室

議題 ①前年度事業報告 ④今年度予算案
②前年度決算報告 ⑤その他
③今年度事業計画案

京都学園大学同窓会

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL(0771)22-2001(代)